

臓器移植患者の QOL 向上に資する再生医療等製品の製造に貢献

AlliedCel 社と開発品の商用生産に向けた業務委受託契約を締結

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（本社：愛知県蒲郡市、社長：山田 一登、以下、J-TEC）は、幹細胞を用いた製品の研究開発を行う再生医療メーカーであるAlliedCel株式会社（本社：兵庫県神戸市、社長：藺田 啓之、以下、AlliedCel）と、同社が開発中の「誘導型抑制性 T 細胞（開発名「JB-101」）」について、上市後の製品製造をJ-TEC が受託することを前提とした技術移管に向けた業務委受託契約を締結しました。

AlliedCel は 2022 年に設立した、造血幹細胞をはじめとする幹細胞やその他の細胞を用いた再生医療等製品の研究開発、製造および販売を行う会社です。株式会社JUNTE^{ジュンテン}BIO（本社：東京都千代田区、社長：河南 雅成）とのライセンス契約に基づき、臓器移植治療における大きな障害となっている免疫拒絶の抑制に向けて誘導型抑制性 T 細胞「JB-101」の開発を進めています。

「JB-101」は、臓器移植後の免疫拒絶反応を抑制し、移植患者さんが生涯継続して内服する必要がある免疫抑制剤からの離脱（免疫寛容誘導）をサポートする再生医療等製品です。免疫抑制剤の投与量を減量または中止することで、臓器移植後の合併症や感染症などのリスクを低減するだけでなく、移植臓器の生着率向上が期待されており、2020 年には厚生労働省「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定されています。

J-TEC はこれまで国内で最多の 5 製品の再生医療等製品を上市させ、品質の確保が難しい細胞加工製品の安定供給を実現してきました。そして、2026 年度中の製造販売承認申請を予定する「JB-101」の上市後の商用生産においても、これまでの安定供給の実績に基づく技術と知見が貢献できることにより、商用生産を前提とした技術移管に向けた業務委受託契約の締結に至りました。

J-TEC は今般の契約に基づき、製造プロトコルの理解や技術移管に向けた課題抽出などの初期調査を行います。その後は、別途契約を締結した上で、技術移管計画に沿って円滑な技術移管を実現し、同製品の上市後の生産体制の整備を進めていきます。

今後も領域にとらわれず多様な再生医療の技術シーズの開発・製造を支援していきます。そして、国内の再生医療 CDMO 事業の発展や再生医療産業の成長に貢献し、「再生医療をあたりまえの医療に」のビジョン実現を目指していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング 経営管理部

E-mail : jtec-info@jpte.co.jp TEL : 0533-66-2020